



# A4グループ プラン詳細レポート

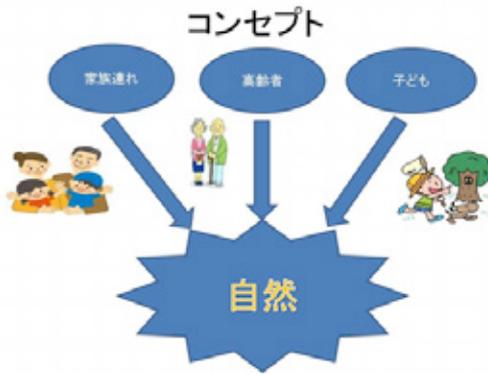
## 自然、歴史、文化の観光資源あふれる蓼科中央高原をプロモーションせよ



本グループは、蓼科高原の活性化のためのプランとして3つの企画の提案を行った。

企業のコンセプトとして3つのターゲットに絞って活動してきた。1つ目は家族連れである。蓼科高原は有名な観光地であり、特に都会から訪れる人にとっては避暑地としての役割もあり、一番観光客を動員できると見込んだからである。2つ目は高齢者である。現在は高齢者の数が年々増加しており、少子高齢化の問題は社会的に問題になっているほどであり、高齢者を多く動員するのは重要であると考えたからである。3つ目は子供である。最近には家に籠ってパソコンやゲームばかりの子供が多いので、蓼科の自然はとても新鮮に感じられると思ったからである。以上の3つをメインのターゲットとして本グループは活動してきた。

蓼科は標高も高く、空気もおいしく自然に溢れているが、多くの自然に溢れている場所は蓼科だけでなく全国的にもあるため、蓼科に行かなければならないような自然を活かした独特な企画が必要であると考えた。家族連れ、高齢者、子供が楽しめるような蓼科の自然を独特な形で活かした企画を考える、というのがわが社のコンセプトである。



次に企画決定までの経緯を報告する。まずブレインストーミングによって、本グループのメンバー各々が企画を練り、それらを集め同じような企画のもの、うまく組み合わせできそうな企画を考え、3つに絞った。初めはグループ分けはせずにそれぞれで調べていたが効率が悪いと考え、3つのグループに分かれ、それぞれ調べグループごとにまとめて形にしていっていった。以上が本グループの企画決定までの経緯である。

以下では、本グループの提案する3つの企画の概要について説明を行う。

まず1つ目の企画は、蓼科の名物である苔をキャラクターにした「コケ丸」をモチーフにした気球の運行である。気球に乗って景色を楽しむことができるのは、とても魅力的に感じるからである。また、「ゆるキャラ」をモチーフにした気球を飛ばすのは、とてもインパクトがあり、宣伝効果も高く、蓼科のことを多くの人に知ってもらうために有効な手段であると考えたことから、この企画の提案を行った。気球製作の見積もりは本体が400万円、付帯計器が20～100万円、1本8万円のボンベが4本、気球保険が年間10万円と

### 内容紹介

#### 製作の見積もり

- ・本体400万～
- ・付帯計器20～100万
- ・ボンベ4本(1本8万～)
- ・気球保険年10万
- ・プロパンガス(20Kgで40分)
- ・メンテナンス費

なっている。その他メンテナンス費など諸々で1000万円ほどかかる計算になる。かなり高額ではあるが宣伝効果は抜群であると考えられるのでこの企画を提案することとした。

2つ目の企画は苔温泉である。蓼科は全国でも有数の苔の産地であるが、観光には活かしきれていない状況がある感じたためである。その要因として、本グループは、苔だけでは物足りない観が否めないため、あまり観光には結びついていないのではないかと我々は考えた。せっかく苔という特徴的な資源があるにもかかわらず、有効的に活用できないのは、観光資源を無駄にしているに他ならず、他に何かコラボすることで、当該資源を活用することを考えた。その結果、辿りついたコラボによる資源の活用方法が、蓼科の温泉とのコラボである。本グループでは、家族連れや高齢者をターゲットとしているため、温泉という誰もが癒される施設とコラボすればいいのではないかと考えた。

蓼科には様々な苔があるが我々が注目したのがチャツボミゴケという苔である。



この苔に注目したのはこのように見た目が美しいからである。この苔は硫黄泉などの強酸性の水が流れる場所でしか生育できない珍しい苔で、主に群馬県の草津の酸性水の流れる川付近に群生しているが、茅野でもメルヘン街道から県道191号線を行きしばらくするとある御射鹿池というため池の湖底に群生している。それを採取し、鉱泉の水しびきを浴びさせて、人工的に繁殖させようというのが我々の企画である。

蓼科には蓼科三室源泉と呼ばれる県内唯一の酸性泉があるため、その酸性泉付近の温泉施設付近の川に群生させて景色を楽しんでもらうことを考えた。また夜はイルミネーションやライトアップで雰囲気作りをしていきたいと考えた。これが我々の考えた2つ目の企画である。

3つ目の企画は昆虫園である。これは大きなディスプレイケースにカブト虫や蝶を放し飼いにし昆虫を見られるようにするものである。この昆虫園は子供をターゲットとしており、最近では子供でも虫嫌いが多く、特に都会の子供にとっては虫と触れあう機会もないので、昆虫園は有効であると考えた。

本グループが提案する昆虫園では温室で育てることにより、1年中自然に近い状態の虫を観察できることを特徴とする。また、ただ単に虫を観察するだけではなく、温室での昆虫の飼育方法を教え、カブト虫や蝶を家庭でも飼育してもらえるようにする他、子供が楽しめるような企画として、スタンプラリーやクイズなどで知識を深められるものも提案する。以上が我々の考えた3つ目の企画である。

以上の3つが我々の提案する企画の概要である。インパクトのある気球を用いた総合的な宣伝、チャツボミゴケという美しく珍しい温泉による高齢層の集客、温室を用いた昆虫園による低年齢層の集客を促進することで、これらの企画により蓼科を活性化できると考えた。